

■市民1人当たりの歳出(42万273円)を分類すると

民生費 137,491円	子どもや高齢者・障害者支援など	教育費 66,316円	学校の整備・運営、教育や文化振興など	総務費 47,776円	税務事務や市役所運営、防災など	土木費 47,713円	道路・公園などの整備や管理など
公債費 40,303円	借入金の返済	衛生費 28,774円	ごみ処理や健康増進など	農林水産業費 17,551円	農林業や畜産業など	商工費 16,227円	商工や観光振興など
消防費 15,180円	消防、防災対策など	議会費 2,817円	議会運営など	労働費 125円	失業・労働対策など		勉強になるモ～

※住民基本台帳人口:117,375人(平成31年3月31日現在)

市の決算をひと月の家計簿に例えると?
(月の給料を30万円とした場合)

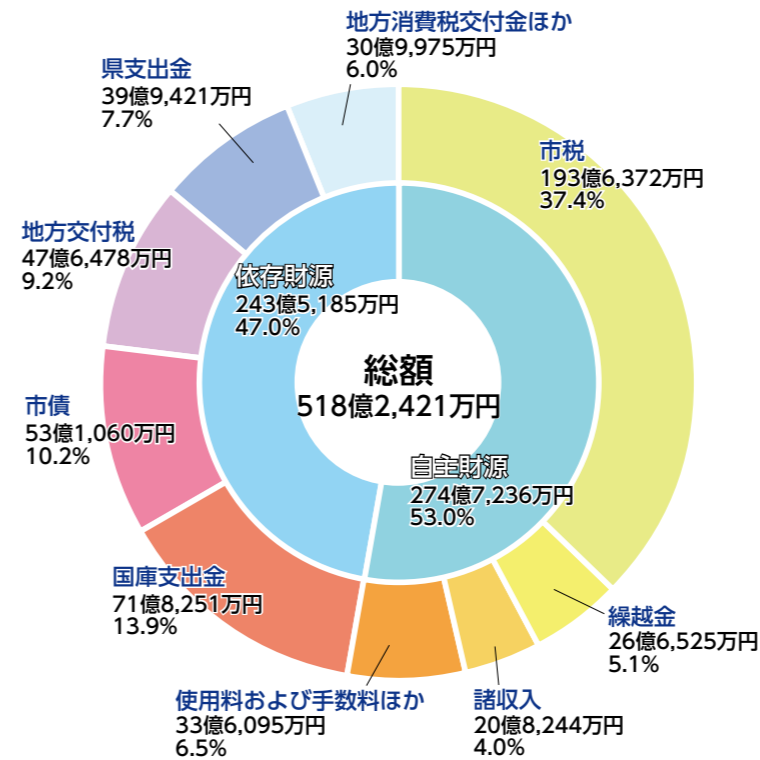
収入		支出	
○給料	300,000円 (310億1,451万円)	○生活費	179,500円 (185億6,198万円)
○基本給 (市税、使用料など)	223,900円 (231億4,998万円)	○食費 (人件費)	60,800円 (62億8,895万円)
○諸手当 (地方交付税、交付金)	76,100円 (78億6,453万円)	○光熱水費や通信費、雑費 (物件費、補助費など)	118,700円 (122億7,303万円)
○親などからの援助 (国庫支出金、県支出金)	108,100円 (111億7,673万円)	○医療・介護費 (扶助費)	102,600円 (106億6,147万円)
○銀行からの借入 (市債)	51,400円 (53億1,060万円)	○子どもへの仕送り (繰出金)	45,300円 (46億7,928万円)
○貯金の取崩し (基金繰入金)	16,000円 (16億5,712万円)	○ローン返済 (公債費)	45,800円 (47億3,057万円)
○繰越金 (前年度繰越金)	25,800円 (26億6,525万円)	○家の改修・電化製品・車などの購入 (投資的経費)	77,100円 (79億7,121万円)
		○貯金、友人への貸付 (積立金、貸付金)	26,900円 (27億8,035万円)
収入合計	501,300円 (518億2,421万円)	支出合計	477,200円 (493億2,953万円)

収入合計から支出合計を差し引いた金額24,100円(24億9,468万円)は翌月の家計に持ち越します。

平成30年度
決算報告

問い合わせ
財政局
☎0287(62)7118

平成30年度の決算は前年度と比べ、歳入では市税(法人市民税)が大幅に減少したものの、県支出金などが増額となっています。また、歳出では教育費(共英学校給食共同調理場改築事業)や農林水産業費(畜産担い手育成総合整備事業)などが増額となりました。財政健全化判断指標から判断すると、本市の財政は引き続き健全な状態です。



歳入
518億
2,421万円
対前年度比 +15億2,182万円(+3.0%)
市民1人当たり
44万1,527円

歳出
493億
2,953万円
対前年度比 +16億9,239万円(+3.6%)
市民1人当たり
42万273円

